

# プロジェクタースクリーン取付金具(EEX-PSKA01シリーズ)組立説明書

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の変領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

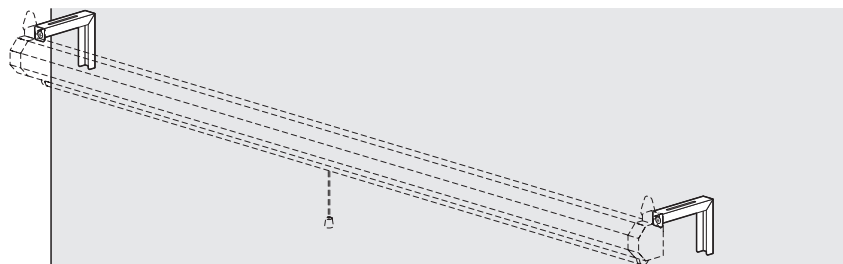
<用意していただくもの>  
プラスドライバー、鉛筆、電動ドリル  
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

Ver.1.0

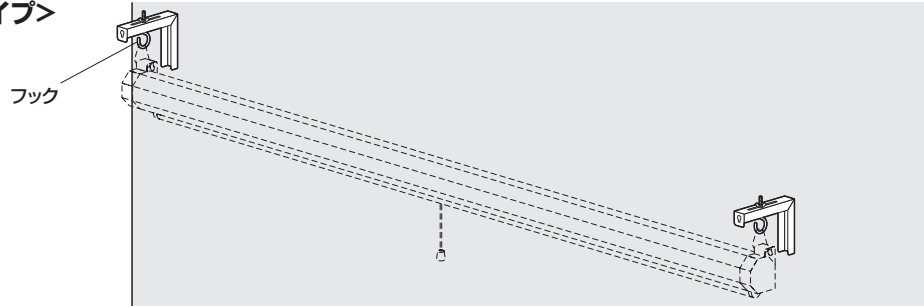
## 完成図

※本製品は組立て方によって、手順 3 以降が異なります。

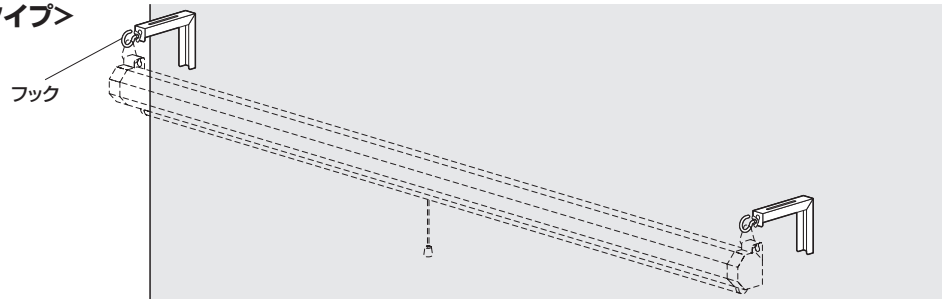
### <Aタイプ>



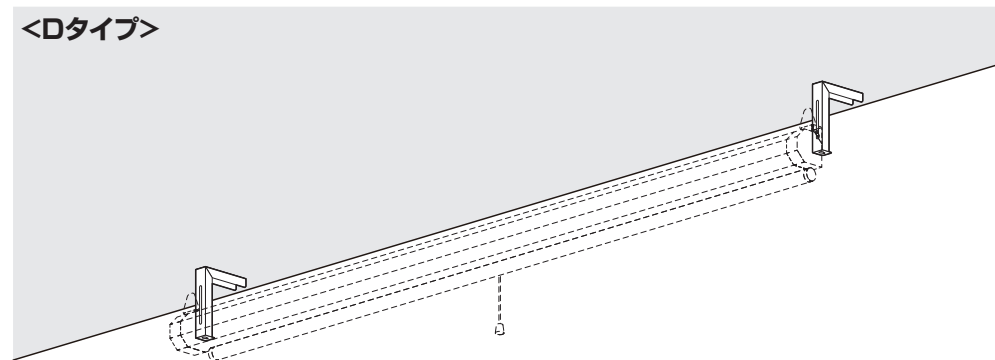
### <Bタイプ>



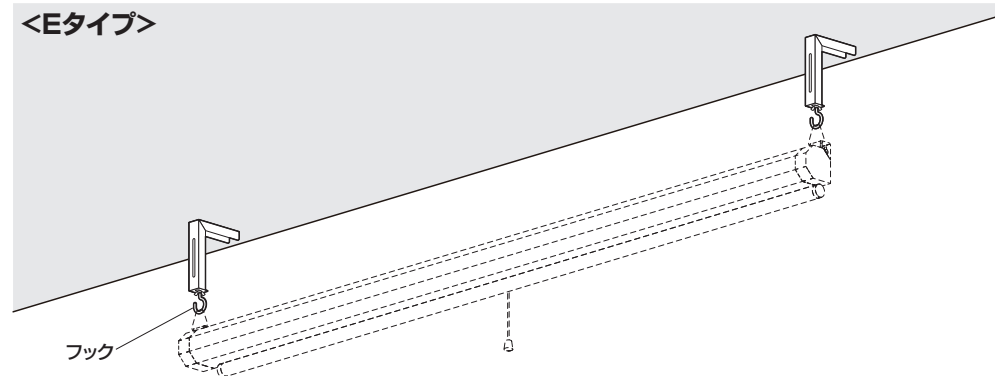
### <Cタイプ>



### <Dタイプ>

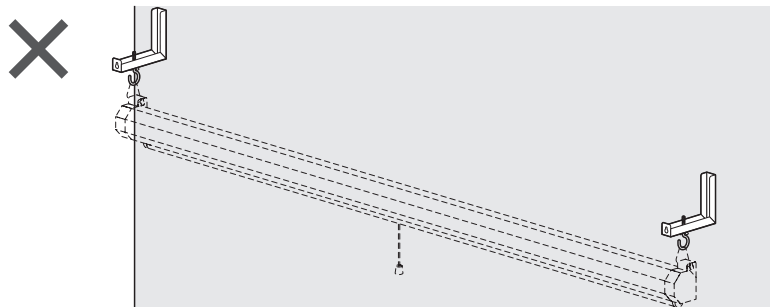


### <Eタイプ>

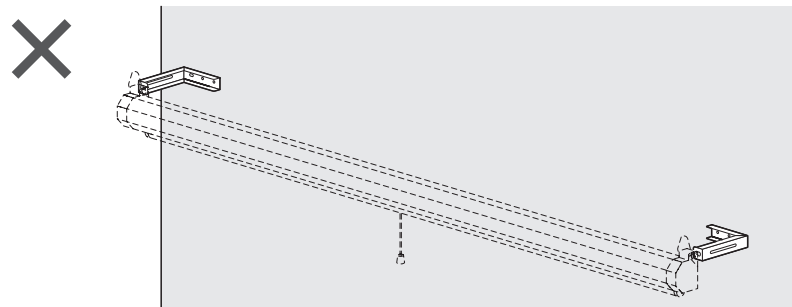


## 取付けできない場合

### <L字ブラケットが下向き>



### <L字ブラケットが横向き>



## 安全上のご注意(必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。


 この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。


 この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

### 必ずお守りください

**本製品を取付ける場合は特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。**

### ■ 取付け場所について

 **警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。


 強度が不十分な壁面や垂直でない壁面、平面でない壁面には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。


 振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。


 壁面はスクリーンと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 壁面への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。

 **注意** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

 各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に壁面を診断のうえ、最適な取付け方法を決めて工事してください。


 本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。

 鉄柱や鉄骨には取付けできません。

### ■ 取付け方法について


 **警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。


 耐荷重を超えるスクリーンを取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 専門の取付け工事業者以外には取付け工事を行わないでください。工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。


 指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。


 必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 部品やスクリーンに手や指などを挟まないようにご注意ください。


### ■ 取付け後のご使用について

 **警告** 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

 ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

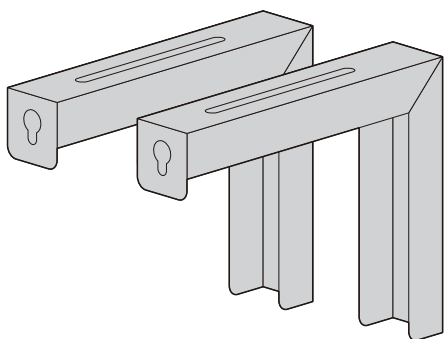
 ぶら下がるなど、荷重をかけないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

 角度やボルトの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

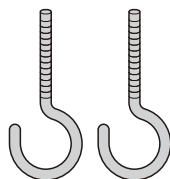
 お子様に触れさせないように十分ご注意ください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

## 組立て部品

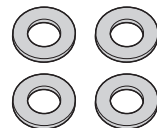
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-PSKA01WHなど)と下記の部品番号(①~⑧)と部品名(ワッシャーなど)をお知らせください。



①L字ブラケット×2個



②フック×2本



③ワッシャー×8枚

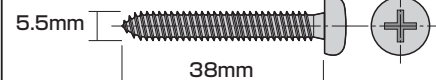


④ナット×4個

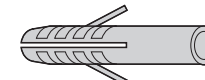


⑤蝶ナット×2個

### <壁取付け用ボルト類>

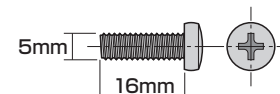


⑥タッピングボルト(5.5×38mm)×4本



⑦アンカー×4本

### <使用ボルト類>



⑧ボルト(M5×16mm)×2本

1. 壁面または天井に、L字ブラケットの取付け位置を決めます。

本図は取付けの一例です、状況に合わせて適切な方法を選択してください。

※位置を決める前にスクリーン現物での吊り下げる間隔とスクリーンの位置を確認してください

<注意>

地震や予想される振動、外力にも十分耐える場所に取付けてください。  
強度が低いと落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因となります。

<注意>

壁面の構造に合わせた取付け方法で取付けてください。

<注意>

壁面は本製品の荷重に耐えられる強度が必要です。

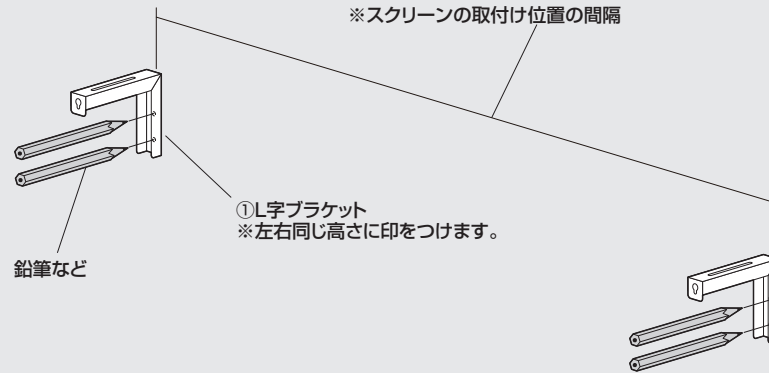
<注意>

堅牢な芯材で荷重を受けようとしてください。

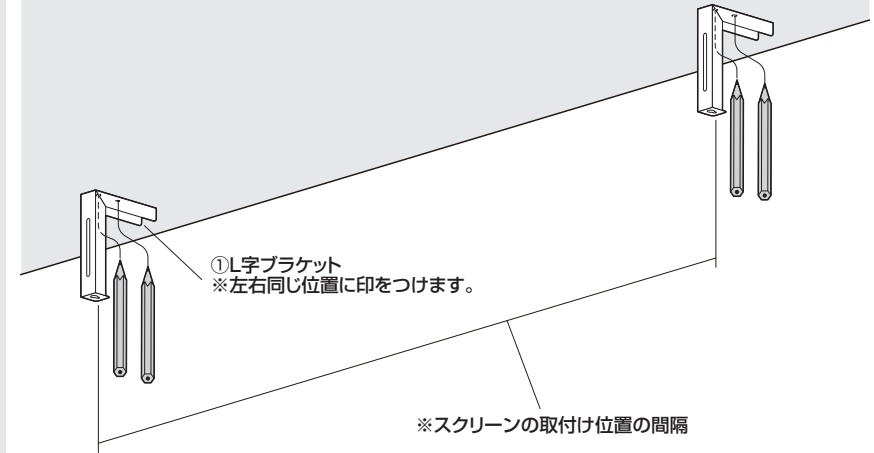
<注意>

設置場所により取付けができない場合があります。

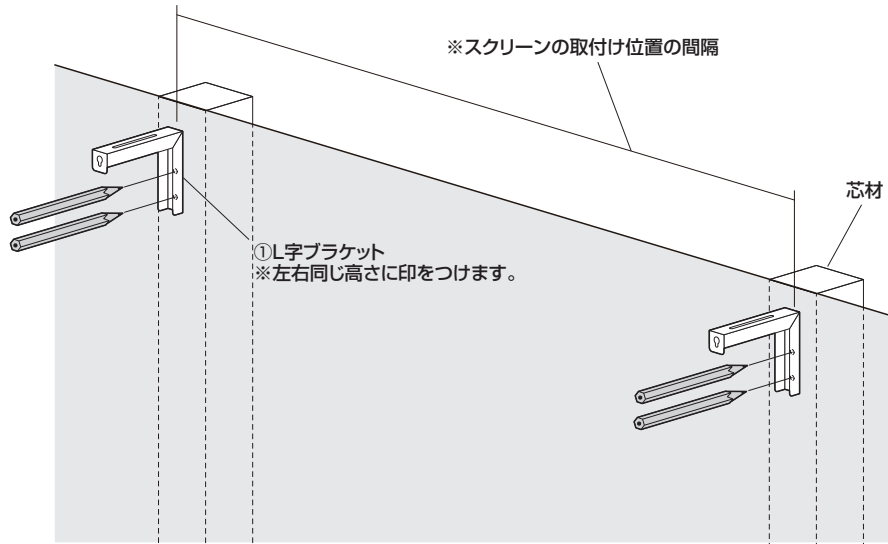
<コンクリートの壁への取付け>



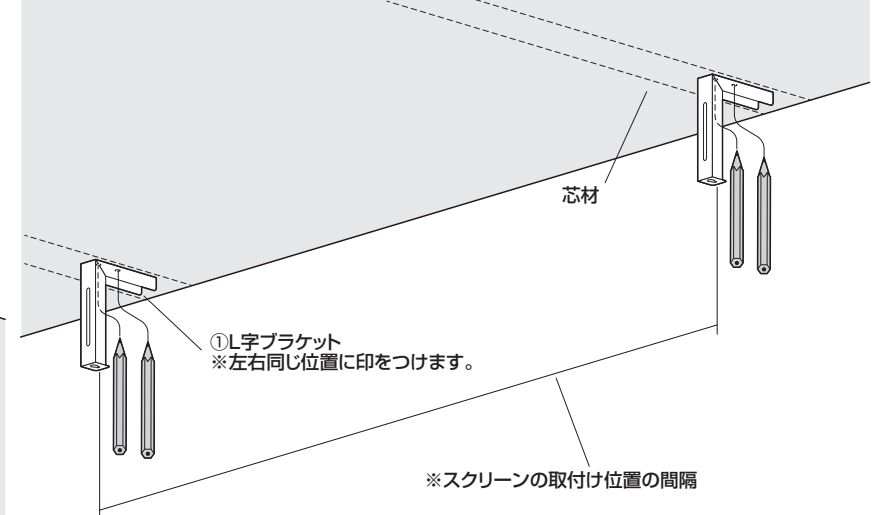
<コンクリートの天井への取付け>



<木製の芯材がある壁への取付け>



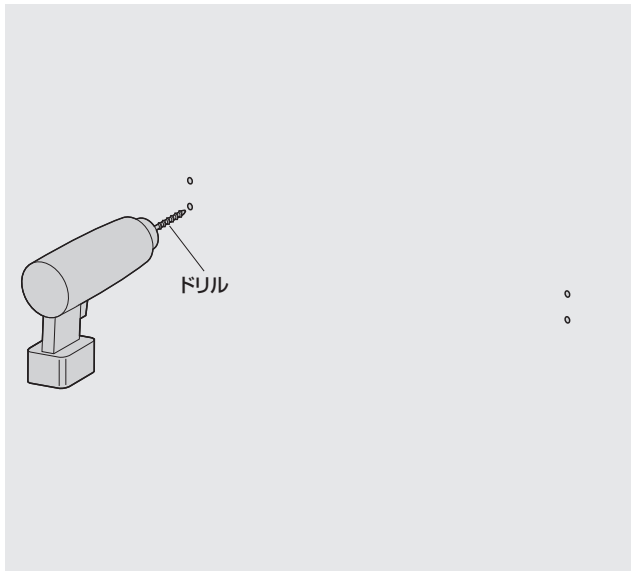
<木製の芯材がある天井への取付け>



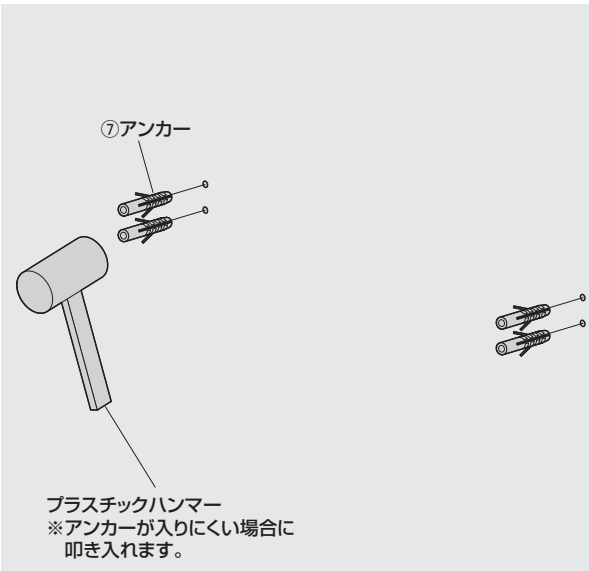
## 2.L字ブラケットを壁面または天井に取付けます。※下図は壁面取付けの場合です。

### <コンクリートの壁への取付け>

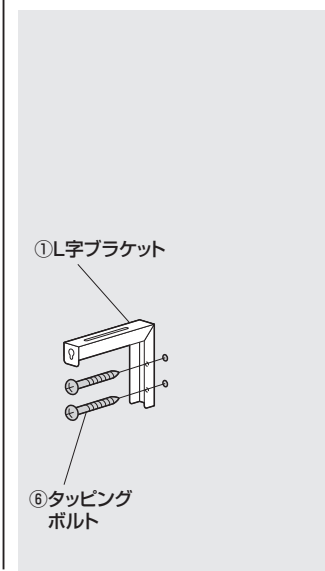
- ①ドリルを使い壁に印をつけた部分に**直径8mm、深さ45mm**の下穴をあけます。



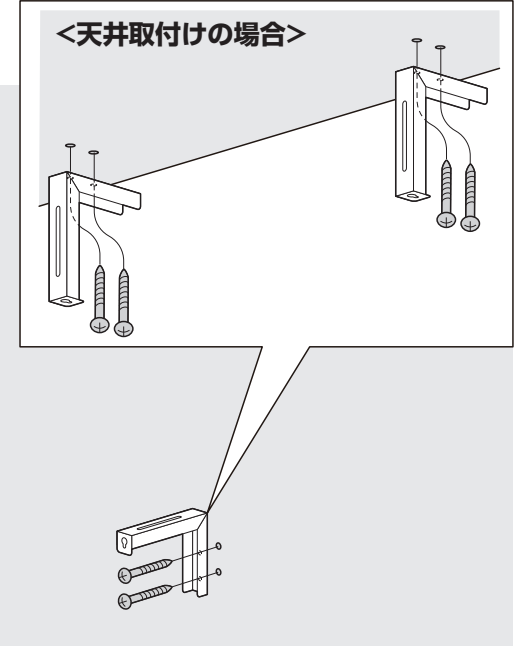
- ②下穴にアンカーを差し込みます。



- ③タッピングボルトでL字ブラケットを固定します。

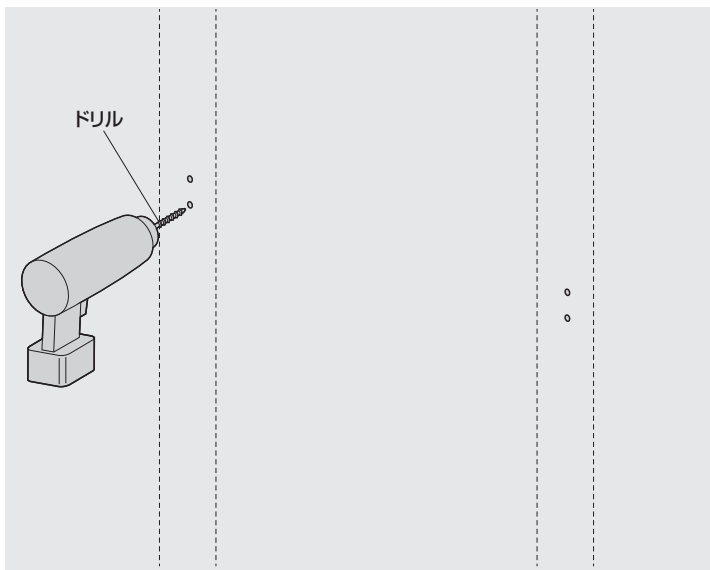


### <天井取付けの場合>

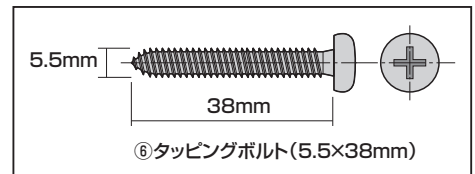
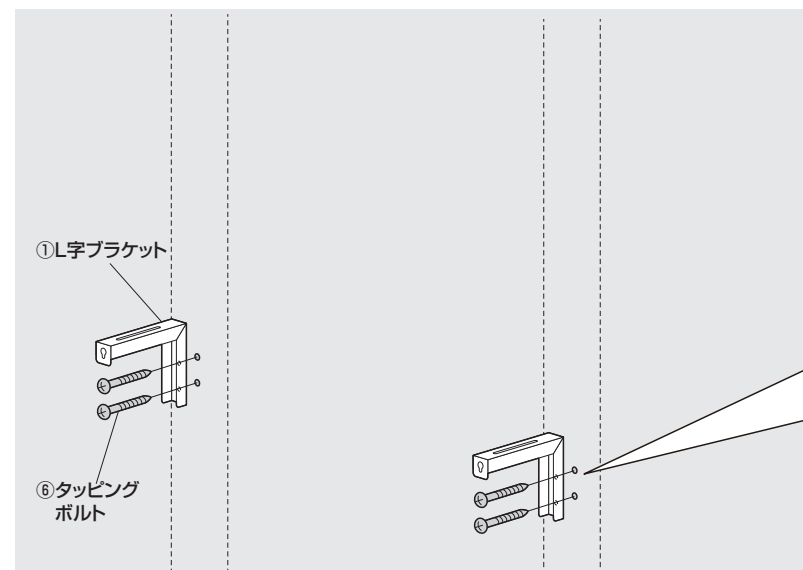


### <木製の芯材がある壁への取付け>

- ①ドリルを使い壁に印をつけた部分に**直径3.5~3.8mm、深さ40mm**の下穴をあけます。



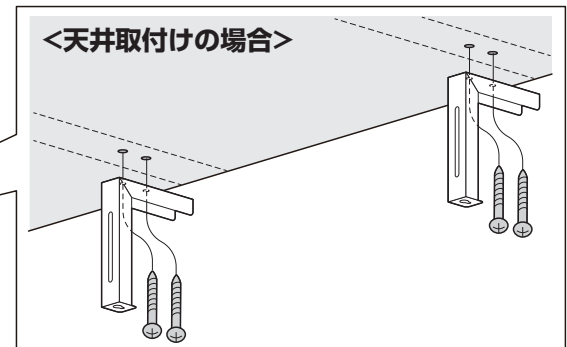
- ②タッピングボルトでL字ブラケットを固定します。



### <注意>

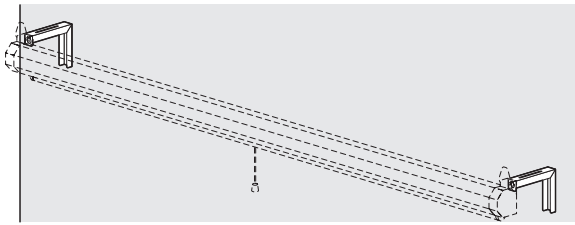
L字ブラケットが動かないようにしっかり固定してください。

### <天井取付けの場合>

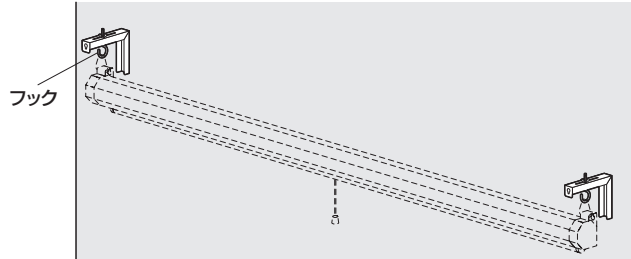


※本製品は組立て方によって、手順 **3** 以降が異なります。

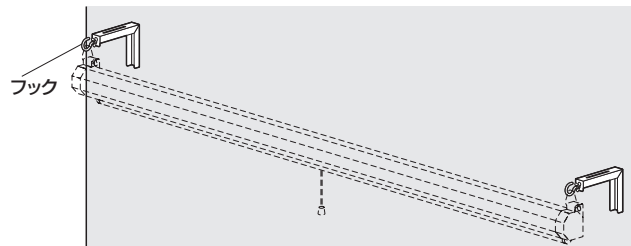
<Aタイプ>



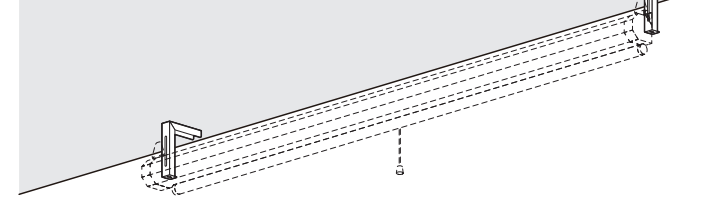
<Bタイプ>



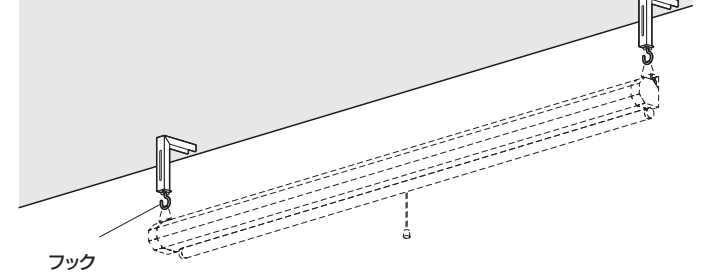
<Cタイプ>



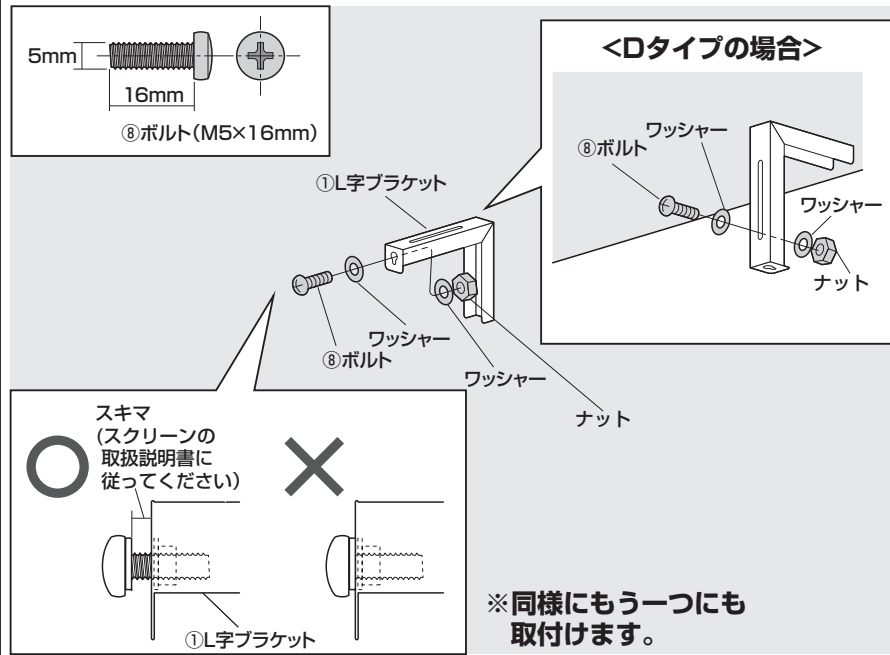
<Dタイプ>



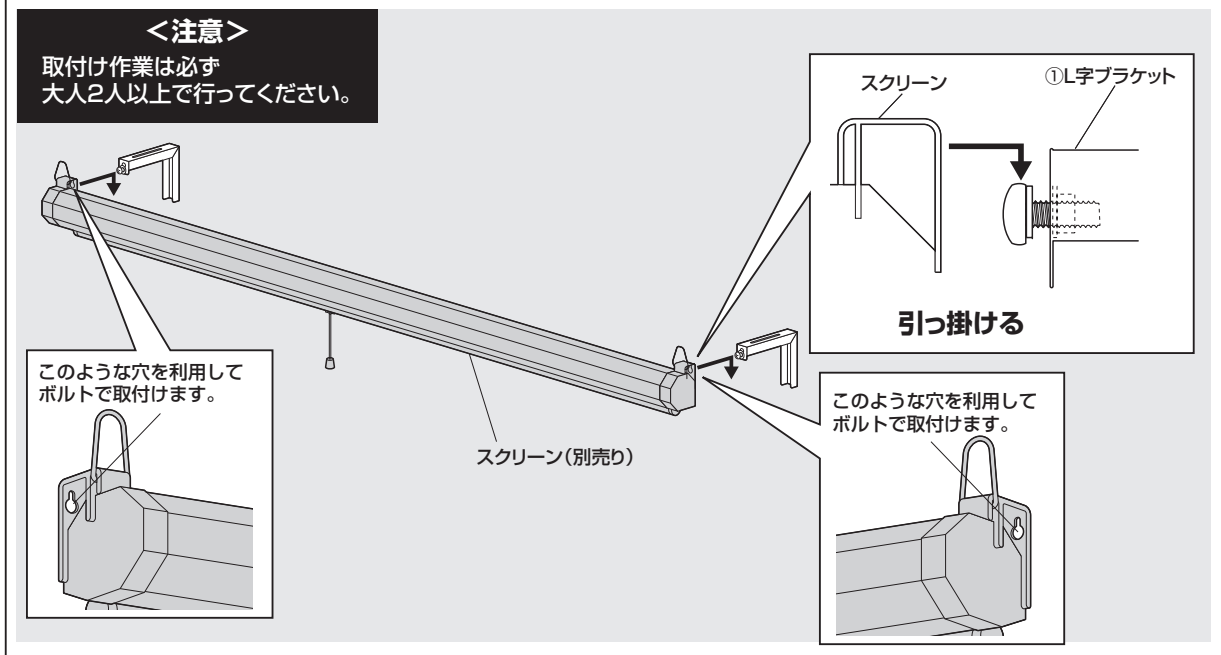
<Eタイプ>



A-3.L字ブラケットにボルトを取付けます。<下図はAタイプです>  
D-3



A-4. スクリーンを引っ掛けます。<下図はAタイプです>  
D-4

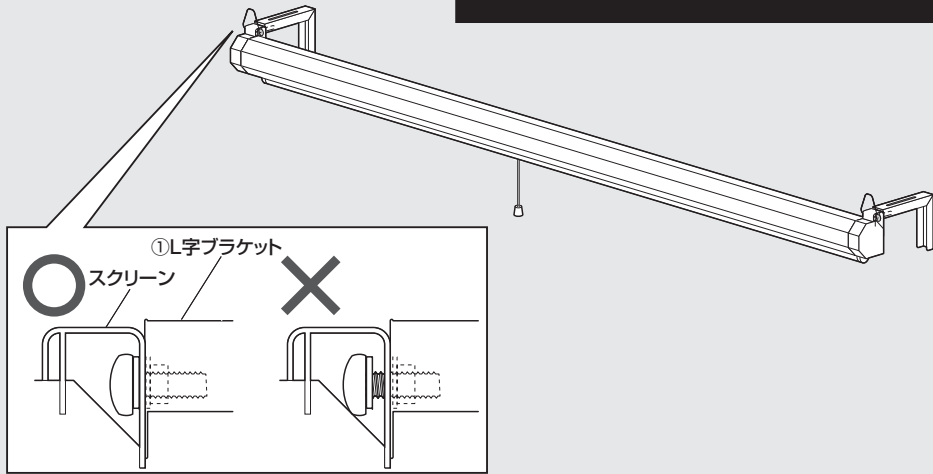


**A-5. ボルトを締付けます。<下図はAタイプです>**

**D-5**

**<注意>**

揺らした時に製品が動く場合は、固定が不十分です。  
製品が動かなくなるように固定し直してください。



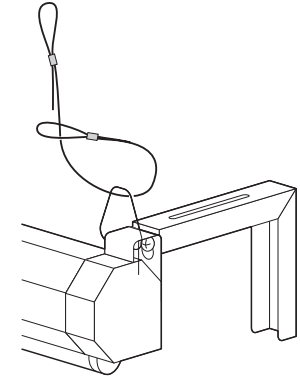
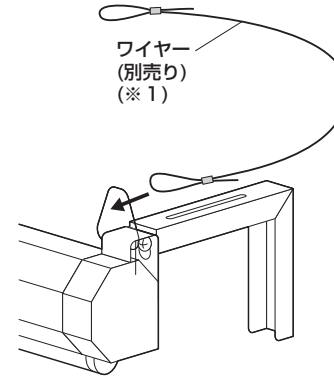
**A-6. スクリーンに落下防止ワイヤーを通します。<下図はAタイプです>**

**D-6**

※1.本製品には付属しておりません。長期間の使用に耐えられる強度の物をご用意ください。

①スクリーンのU字型金具にワイヤーを通します。

②反対側のワイヤーの輪の中を通します。

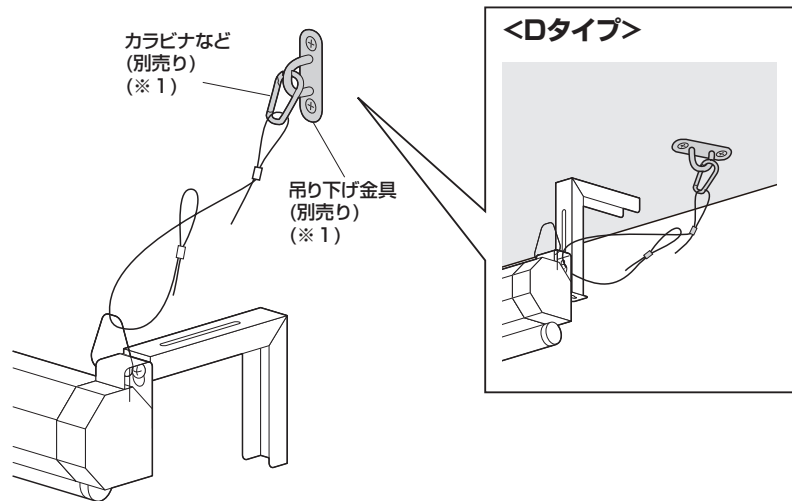


※同様に反対側にも取付けます。

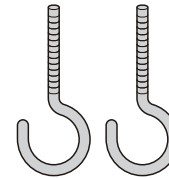
**A-7. 壁、もしくは天井に吊り下げ金具を取付けます。<下図はAタイプです>**

**D-7**

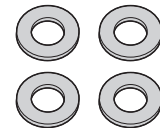
※1.本製品には付属しておりません。長期間の使用に耐えられる強度の物をご用意ください。



※ボルトで固定する場合は、  
下記の部品は使用しません。



②フック×2本



③ワッシャー×4枚



④ナット×2個

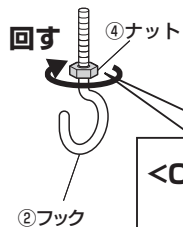


⑤蝶ナット×2個

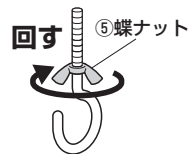
**B-3. L字ブラケットにフックを取付けます。<下図はBタイプです>**

C-3  
E-3

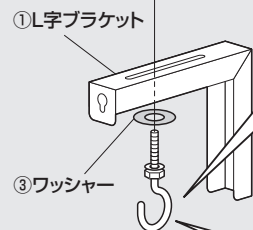
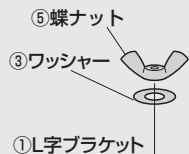
①フックにナットを取付けます。



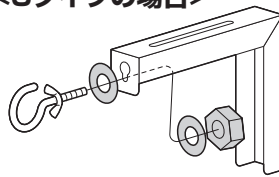
**<C・Eタイプの場合>**



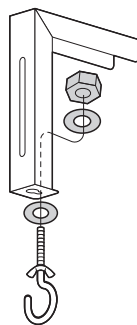
②L字ブラケットにフックを取付けます。



**<Cタイプの場合>**



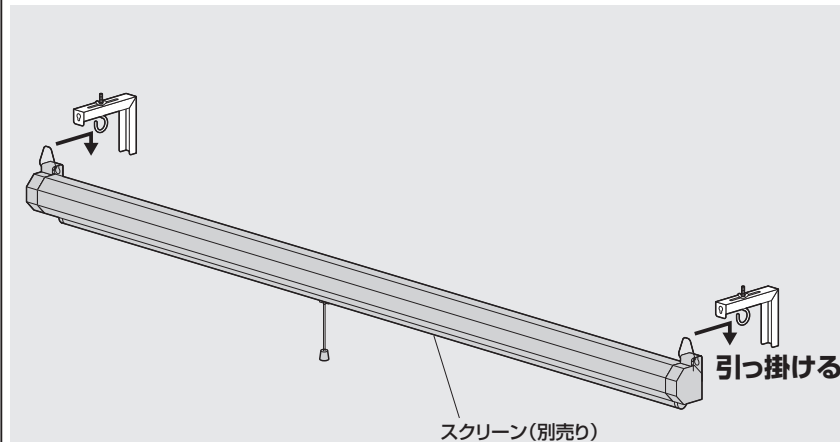
**<Eタイプの場合>**



※同様にもう一つにも取付けます。

**B-4. スクリーンを引っ掛けます。<下図はBタイプです>**

C-4  
E-4



**<注意>**

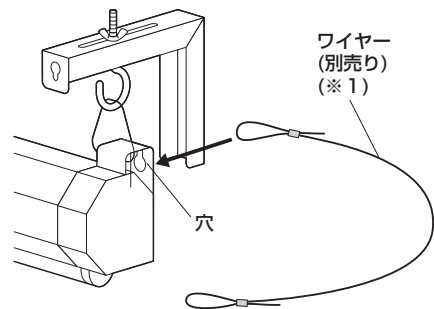
取付け作業は必ず  
大人2人以上で行ってください。

**B-5. スクリーンに落下防止ワイヤーを通します。<下図はBタイプです>**

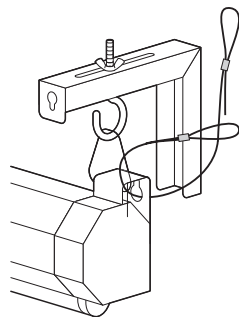
C-5  
E-5

※1.本製品には付属しておりません。長期間の使用に耐えられる強度の物をご用意ください。

①スクリーンの穴にワイヤーを通します。



②反対側のワイヤーの輪の中を通します。

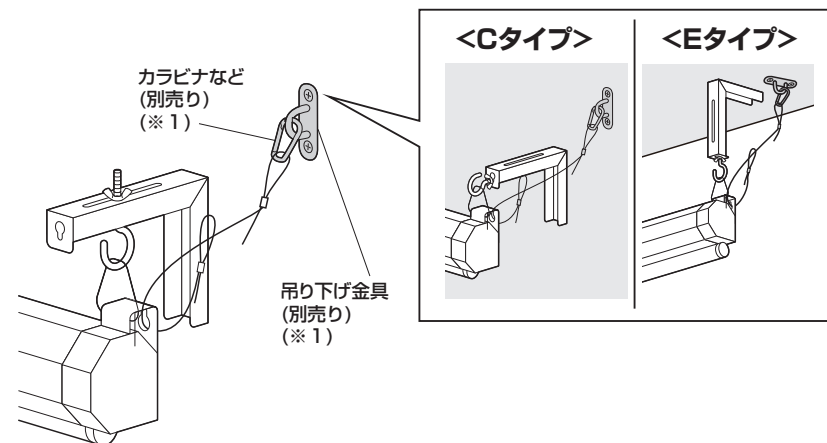


※同様に反対側にも取付けます。

**B-6. 壁、もしくは天井に吊り下げ金具を取付けます。<下図はBタイプです>**

C-6  
E-6

※1.本製品には付属しておりません。長期間の使用に耐えられる強度の物をご用意ください。



※フックを使用する場合は、  
下記の部品は使用しません。



③ワッシャー×4枚



④ナット×2個

製品に関するお問い合わせ  
製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や  
製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買求めの販売店又は  
右記までお気軽にご相談下さい。

CE/BA/TOC

山陽トランスポート有限公司  
店舗名: イーサプライ <https://www.esupply.co.jp>  
岡山県倉敷市児島神田町1861 TEL: 086-473-9152